

ファイナルレポート
 第 13 回 国際醸造・飲料製造加工技術・機器見本市
 2018 年 10 月 23 日～26 日
 中国・上海国際見本市会場

2018 年 10 月 29 日

CHINA BREW CHINA BEVERAGE 2018
アジアにおける主要見本市としての地位を固める

Summary

- 出展社数と来場者数が増加
- CBB、アジアにおける主要見本市としての地位を強調
- 業界は持続可能性とデジタル化の重要課題について議論

Facts & Data

会 期	2018 年 10 月 23 日(火)～26 日(金) 9 時～17 時 ※最終日のみ 14 時まで
会 場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主 催	China National United Equipment Group Co., Ltd. China Light Industry Machinery Association - 中国軽工業機械協会 Messe Muenchen - メッセ・ミュンヘン
共 催	Beijing Zhongqing Heli International Exhibition Co., Ltd. MM (Shanghai) Co., Ltd. - メッセ・ミュンヘン 上海
後 援	VDMA - ドイツ機会工業連盟 食品加工・包装機械工業会
規 模	92,000 m ² (2016 年: 81,000 m ²)
出 展 企 業	869 社 (2016 年: 800 社)
来 場 者 総 数	56,000 人 (2016 年: 53,183 人)
主 な 出 展 品	ビール・ワイン・蒸留酒・ソフトドリンク(乳飲料・清涼飲料)・液状食品製造加工機械・プラント、醸造・充填・衛生技術、製造加工自動化・制御・IT 技術、原材料・フレーバー・添加剤、飲料容器洗浄・密閉・ラベル・識別技術・機械、プラスチック容器製造機械・原料、各種容器・包材、保管・貯蔵、物流搬送技術 など
出展日本企業 (現地法人・代理店 出展含む)	SMC(株)、澁谷工業(株)、ツバキ山久チエイン(株)、トーステ(株)、日精エー・エス・ビー機械(株)、三浦工業(株)他
専 用 U R L	www.chinabrew-beverage.com (英語 / 中国語)

アジアの飲料および液体食品市場における主要な動きの一つは、「量ではなく品質」だ。所得が増加するにつれ、人々は多くの製品を消費する代わりに、より良い製品を購入することを好むようになった。同時に、生産システムと機械の需要は依然として高いままだ。CHINA BREW CHINA BEVERAGE (CBB) は、出展社のプレゼンテーションと包括的な支援プログラムによって、市場の概観を幅広く捉えることができる業界最大の見本市だ。CBB は、今日の業界を動かしている製品を数多く展示し、未来へ推進している。その過程で、アジアにおける地位を明確に示すこととなった。

メッセ・ミュンヘンのラインハルト・ファイファー副社長は、CBB の成果に非常に満足している。「前回に続き今回のイベントも成功している。出展企業総数は 869 社で、9%増加した。この見本市では、海外からの出展企業 256 社が使用した 2 つのホールを含め、8 ホールが使用された。これは 6%の伸びを意味する。CBB は、アジア太平洋地域において、飲料および液体食品産業のための主要見本市としての重要性を高めている」と述べている。国際的な業界大手の最高経営責任者 (CEO) たちは、インドネシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナムなど、アジア諸国からの来場者数が多いことを高く評価した。CBB を主催する Zhongqing Heli International Exhibition 社のゼネラルマネージャ、Hong Shen 氏は、当イベントの付加価値を次のように強調している。「CBB は、アジアで開催される見本市の中で、飲料および液体食品のあらゆる分野のプロセスチェーン全体を展示する唯一の見本市だ。そして、新世代の機械を紹介している。約 56,000 人の参加者で 8 つのホールが満員となったことから、そのことが伺える」。

VDMA 食品加工包装機械協会のマネージングディレクターである Richard Clemens 氏は、中国市場で成功するための足がかりを掴みたい国際企業にとって CBB は不可欠である、と考えている。「カスタマイズされたソリューションの開発と実施、そして理想的なアフターサービスの提供をするためには、顧客との密接な関係が極めて重要だ。CHINA BREW CHINA BEVERAGE は、中国だけでなく東南アジア全体にとって最も重要な見本市だ」とクレメンズ氏は評価する。

持続可能性とデジタル化の重要課題を扱う CBB フォーラム

飲料業界は、デジタル化を受けて揺れ動いている。CBB フォーラムのプログラムの一つ、カナダ・ハリファックスにあるダルハウジー大学の Sylvain Charlebois 教授によるプレゼンテーションは、「ブロックチェーン技術が、多くの企業にとって、ブランド資産価値の保護にいかに関与するか」というテーマだ。飲料業界において、こうした技術の利用はまだ始まったばかりだが、「企業はこれを好機と捉えて早期に対応すべきだ」と彼は勧める。VDMA の見解によれば、中国の消費者は、特にデジタル・ソリューションに対して非常にオープンなようだ。

つまり、それは飲料業界の企業にとって潜在的な可能性を秘めていることを示している。なぜなら、「オンラインで設定・注文できるカスタマイズされたプレミアム製品は、ヨーロッパよりもはるかに大きな成長の可能性があるからだ」とクレメンズ氏は話す。

また、業界では持続可能性の問題について集中的に議論された。例えば、化学医用生体工学部の教授であり、ナンヤン技術大学 NTU 食品科学技術プログラム長である William Chen 教授は、持続可能なビール醸造は企業と消費者両方に利点があると考えている。「持続可能な醸造プロセスや、廃棄物や副産物のアップサイクリング、例えば生分解性の包装を作ることなどは、業界に大きな利益をもたらす。最終的には、それが消費者にとってより低い製品価格となって反映されるかもしれない」と同氏は述べている。

来場者と出展企業は、CBB フォーラムや豊富な情報に刺激を受けた。CBB は、業界内で情報の共有を促す重要な役割を果たすとともに、飲料および液体食品市場を幅広く概観することを可能にしている。

初の座談会も成功

持続可能性とデジタル化以外では、「PET 分野の未来」も熱く議論された話題の一つだ。今回新たに導入された座談会は、ビールと飲料市場におけるこうした課題について、来場者がより多くのことを学びきっかけとなった。業界にとって、今、そして未来の懸念事項は何だろうか？

AB InBev、Snow、Sunttyech Process Engineering、Tsingtao、Voss (Hubei) Water & Beverage などの企業から出席した業界専門家たちはそれぞれの見識を共有した。インターナショナル・ビール・スマート・

ファクトリー&ブリューイング・テクノロジー・フォーラムや出展社技術セミナーなど、アジェンダ外の項目も来場者からの人気を集めた。

数字で見る CBB

56,000 人を超える業界関係者が、CBB に参加するために上海を訪れた。これは前回の見本市を 6% 上回っている(2016:53,183)。

総数 869 社の出展企業が製品と技術革新を展示した。これは、2016 年に比べて 9% の増加である。全出展社が使用した総展示面積は、92,000 平方メートルに及んだ。

次回の CHINA BREW CHINA BEVERAGE は 2020 年 10 月中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)にて開催される予定だ。

CHINA BREW CHINA BEVERAGE についての詳細はこちらから:

<http://cbb.drinktec.com>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)